平成24年度　事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	緑化推進事業													継続
コード	47	－	23	－	03	－	00	予算事業名	緑化推進					
担当部署	環境部		環境政策課		みどりの担当			予算事業コード	会計	10	款	04	項	01	目	12

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け　位置付けなしの場合

法令による実施義務　義務ではない

基本目標(章)	5章	人と自然がともに生きる、地球環境にやさしいまち	根拠となる法令、条例等	なし
方向性(節)	3節	環境保全対策の推進		
施策	1	自然環境の保全	個別計画等の名称	川越市緑の基本計画 第二次川越市環境基本計画
細施策	2	緑の創出		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	市民が真に生活の豊かさを実感でき、快適で安全な生活を送るために都市の緑化を進めることを目指す。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	自治会・ボランティア団体の協力を得て、苗木配布、花いっぱい運動、緑の募金を使った緑化、緑のカーテンの普及促進、生け垣設置・屋上緑化等補助金交付等の事業を実施する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		12,553	11,787	10,751	9,740	10,014	
事業費	A	8,748	9,552	8,901	6,381	10,014	10,014
人件費	B	14,060	12,210	11,470	11,470	11,100	11,100
総コスト(C＝A＋B)		22,808	21,762	20,371	17,851	21,114	21,114
正規職員(1年間の従事人数)		1.90人	1.65人	1.55人	1.55人	1.50人	1.50人
臨時職員(1年間の従事人数)							
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	5,207	6,048	7,226	6,661	7,084	7,084
市の財政負担(＝C－D－E)		17,601	15,714	13,145	11,190	14,030	14,030

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	:中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	緑化本数	本	3,737	2,808	1,661	1,269	苗木の無料配布本数と公共施設に植栽した樹木の本数
成果	市民花壇指定箇所数	箇所	45	49	53	57	市民花壇の指定箇所数
成果	生け垣設置件数	件	6	9	3	4	生け垣設置補助を受けて、生け垣を設置した件数
成果	公共施設緑のカーテンモデル箇所数	箇所	21	27	28	59	緑のカーテンを設置した公共施設の建物数

中心指標の考え方	本事業は、成果指標を中心に評価する。
指標に基づく評価	緑化本数が減っているのは、苗木の無料配布本数を年々減らしてきているためである。市民花壇の設置箇所数、公共施設緑のカーテンモデル箇所は順調に増加している。

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況　効率性に課題

一般家庭でも手軽に取り組める「緑のカーテン」の普及促進や、自治会などの地域の人たちがまちなかで花の世話をする「市民花壇指定」、震災時のブロック塀の倒壊の予防にもなる生け垣設置補助等に特に力を入れて、緑化の推進を図っている。市民花壇指定は順調に数を増やしているが、コストが上昇していくので、実施方法を考える必要がある。

(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)

市民花壇指定　:川口市、さいたま市、戸田市、草加市、坂戸市他
生け垣設置補助　:川口市、狭山市、戸田市、入間市、坂戸市、ふじみ野市他
緑のカーテン普及:川口市、熊谷市、鶴ヶ島市他

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響

地球温暖化防止やヒートアイランド現象の緩和の効果や、市民に安らぎや潤いを与えてくれる空間の減少につながる。

(4) **所属長自己評価(今後の方向性)**　拡充

緑化が推進されることにより、地球温暖化の防止やヒートアイランド現象の緩和に貢献できるものと考える。したがって、今後も積極的に推進していくべき事業であると考える。